

伊丹市街路樹管理計画における
再整備優先度の見直しについて

令和 7 年 4 月

伊丹市 都市交通部

道路室 道路保全課

はじめに

令和 2 年 3 月に策定された伊丹市街路樹管理計画に基づき、令和 3 年度より特に大木化や老木化が顕著な路線について、街路樹の再整備事業に取り組んでいます。策定から 5 年が経過し、その間にも社会情勢や市民の声(要望数等)が変化しており、街路樹においても様々な課題に柔軟に対応していくことが求められています。

そのため、下記の PDCA サイクルを活用し、実施した再整備事業の効果検証を行いながら、再整備計画における優先度の見直しを行いました。

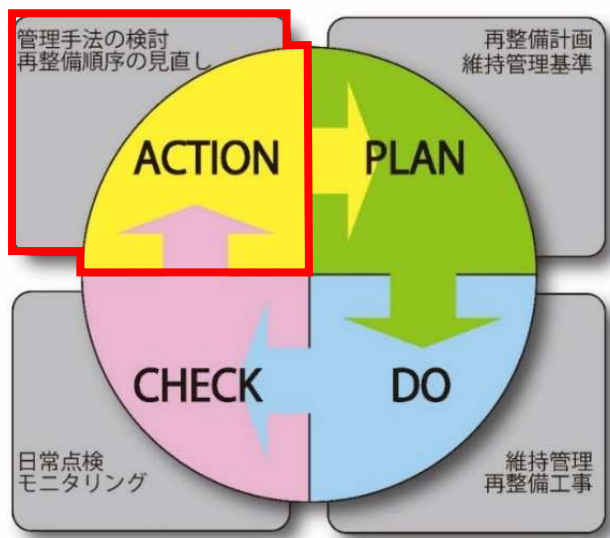


図1 PDCAサイクル
(伊丹市街路樹管理計画より)

1. 街路樹の現状と問題点

1. 市内における高木等の総本数および要望割合について

管理目標”未来へつなげる新たな魅力あふれる街並みづくり”に向けて、特に大木化・老木化が顕著なケヤキ・クスノキ路線の再整備および交差点等の植栽制限箇所の整理、ハナミズキ・エゴノキ等の花芽で季節感がある樹木の補植(都市の魅力づくり)をおこないました。再整備事業にともなう効果として、再整備をすすめたケヤキ・クスノキについての市民要望割合が減少しました。また、沿道及び自治会の多くの皆様から「歩道が歩きやすくなった」、「見通しが良くなった」などの声も頂きました。

また、令和5年度の市民要望割合について、令和4年度と比較し、樹木の生長にともないサクラの要望割合が最も多くなっています。

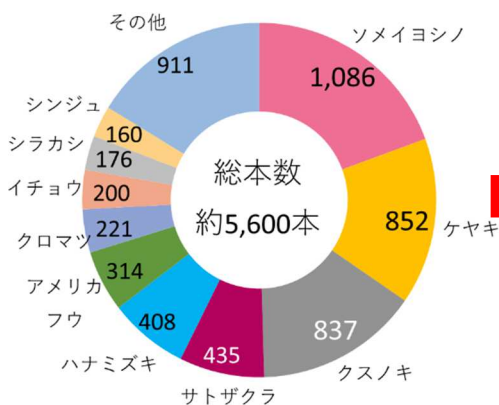


表 1-1 高木等の樹種(R1 末時点)

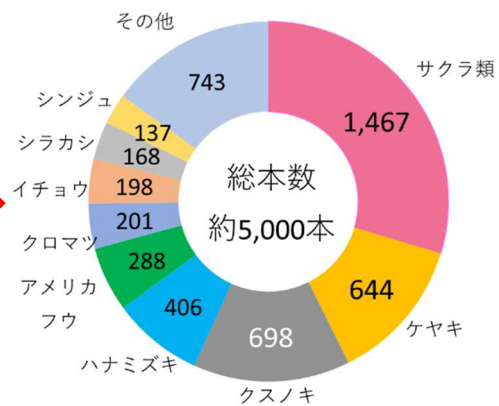


表 1-2 高木等の樹種(R6 末時点)

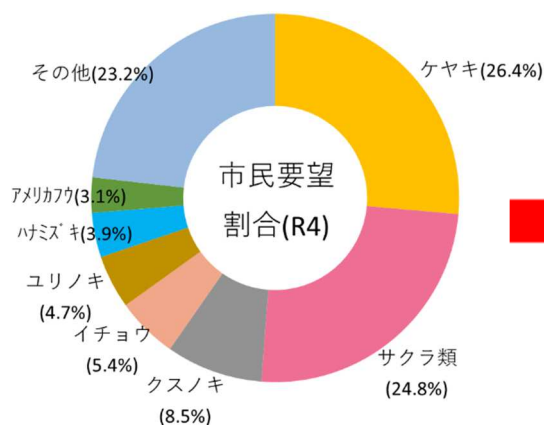


表 2-1 高木等における市民要望割合(R4 年度)

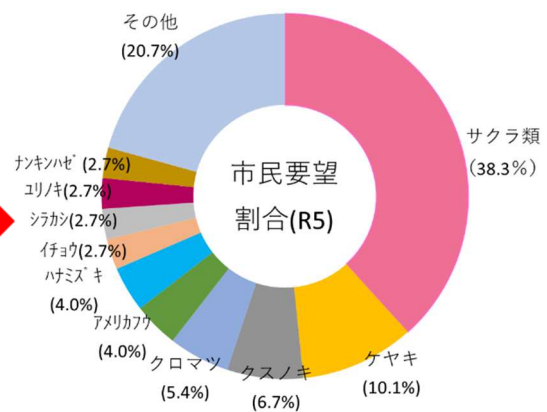


表 2-2 高木等における市民要望割合(R5 年度)

2. 根上がりに関する市民要望および歩行空間の改善について

新幹線北側道線ほか 5 路線において、サクラの根上がりに関する要望件数が年々増加しており、市内における根上り箇所の解消及び、連続植栽柵箇所等、幅員狭小箇所の歩行環境の改善が求められています。



図 2-1 歩道根上がり状況
(新幹線北側道線)



図 2-2 連続植栽柵箇所における、
有効幅員狭小箇所(池尻 2050 号線)

2. 再整備計画の見直しについて

上記に記述した内容を踏まえ、従来の3項目の指標に加え、以下に示す2項目の指標を追加し、再整備路線の再評価を行い(表3参照)、優先度における順位の見直しを行いました。

再整備優先度	指標-1 大木化率 樹高と幹周
	指標-2 根上がり発生率
	指標-3 歩道有効幅員
	指標-4 植栽樹種
	指標-5 樹形状

図3 再整備優先順序検討指標(追加)

優先度	評価項目と評価点	指標-1			指標-2		指標-3		指標-4		指標-5		優先度 合計点数 (pt)
		大木化率 (樹高と幹周)			根上り 発生率		有効幅員(m)		植栽樹種		樹形状		
		樹高 (8m以上)	幹周 (90cm以上)	評価点 (pt)	評価点 (pt)		有効幅員 (歩道幅員)	評価点 (pt)	評価点 (pt)		評価点 (pt)		
優先度 ↑	桑津口酒井線	90.8%	77.3%	3.0	4.2%	0.5	1.15 (4.0)	2.0	ケヤキ	1.0	混在	1.0	7.5
	池尻2050号線	49.4%	17.9%	0.0	27.2%	1.0	1.3 (2.5)	2.0	ニワウルシ アメリカフウ	2.0	連続	2.0	7.0
	新幹線側道(南町4路線含む)	24.8%	60.8%	1.5	17.3%	0.5	2.4 (4.0)	0.0	サクラ ユーカリ	3.0	連続	2.0	7.0
	荒牧学園線	20.8%	95.8%	1.5	16.7%	0.5	1.5 (2.5)	2.0	ケヤキ	1.0	連続	2.0	7.0
	尾澤池千僧線	86.0%	70.6%	3.0	22.1%	1.0	2.1 (3.5)	0.0	クスノキ	1.0	連続	2.0	7.0
	野間橋/本線	15.1%	20.8%	0.0	9.4%	0.5	1.3 (3.0)	2.0	ナンキンハゼ	2.0	連続	2.0	6.5
	尾澤車庫線	0.0%	43.3%	0.0	11.5%	0.5	1.3 (2.5)	2.0	ヤマモモ	1.0	連続	2.0	5.5
	荒牧萩野線	79.8%	18.1%	1.5	6.4%	0.5	1.5 (2.5)	2.0	ケヤキ	1.0	単独	0.0	5.0
	山田武庫之荘線	56.5%	60.7%	3.0	6.8%	0.5	2.8 (4.5)	0.0	クスノキ	1.0	単独	0.0	4.5
	堀原東野3113号線	0.0%	0.0%	0.0	3.1%	0.5	1.0 (2.0)	2.0	コブシ	0.0	連続	2.0	4.5
尾澤池跡物師線	19.5%	19.5%	0.0	9.0%	0.5	2.5 (3.5)	0.0	アメリカフウ	1.0	連続	2.0	3.5	
整備済	森本8030号線	84.6%	84.6%	3.0	11.5%	0.5	1.4 (2.5)	2.0	ケヤキ	1.0	連続	2.0	8.5
	伊丹森本線	50.7%	33.3%	1.5	26.7%	1.0	1.3 (2.5)	2.0	クスノキ	1.0	連続	2.0	7.5
	車塚5208号線/野間5211号線	0.0%	60.6%	1.5	12.1%	0.5	1.4 (2.5)	2.0	ニセアカシア ナンキンハゼ	2.0	(東)単独 (西)連続	1.0	7.0

表3 各路線再整備優先度

指標-4 植栽樹種について、要望数の多いサクラを3.0pt、特定外来種(ニワウルシ、ナンキンハゼ等)を2pt、その他樹種を1ptとしています。

指標-5 樹形状について、すれ違いが困難な連続樹箇所を2pt、連単混在箇所を1ptとしています。

路線毎の評価点の合計点数から高い順に並べ、点数が高い路線=問題が多い⇒優先度が低いと判断します。(表3参照)

3. 今後の進め方

見直した評価点を基に、優先度の高い路線から順次再整備を行っていきます。ただし、社会情勢の変化等、状況に応じて路線の引き上げ等を行う等、柔軟な対応を行います。

今後も本管理計画の管理目標である「未来へつなげる新たな魅力あふれる街並みづくり」を実現するため、より効果的な維持管理や、安全・安心で快適で潤いのある道路空間の整備に取り組んでいきます。